

この度、国吉康雄作品の展示を、野田作品を所蔵する宇城市不知火美術館と、藤田嗣治やジュール・パスキンなどの作品を所蔵する熊本県立美術館のふたつの美術館で行うこととなりました。国吉の油彩、カゼイン画を2館で合計約40点を公開するという、九州では初の大規模な国吉作品の展示です。熊本の近代洋画の豊かなコレクションと、世界最大規模で国吉康雄作品を所蔵する福武コレクションとのコラボレーションによる、絵画鑑賞の新たな楽しみを発見する機会としたいと思います。



ドキュメンタリー上映会+講演会、鼎談

【第1部】13:00~13:50 (上映会)
13:50~14:30 (講演会)
 国吉康雄検証ドキュメンタリー「国吉を誤解している日本・忘れたアメリカ」上映会+講演会(入場無料)

【第2部】14:40~15:30 (鼎談)
 鼎談「文化芸術資源による地域交流の可能性」(入場無料)

2月24日(日)
 会場：熊本県立美術館本館・文化交流室
 定員：先着順

【第1部 上映会+講演 登壇者：才士真司(本取材・監督/岡山大学准教授/本展共同企画者) 国吉康雄の教えを受けたブルース・ドーフマン氏、国吉研究の第一人者であるトム・ウルフ氏などのインタビューを九州初上映。上映終了後、本作の監督で本展企画者の才士真司氏による講演がございます。]

【第2部 登壇者：林田龍太(熊本県立美術館学芸員)、**浦田恭代**(不知火美術館学芸員)、**才士真司** 熊本の豊かな近代洋画のコレクションと岡山を代表する画家、国吉康雄のコレクションによるコラボレーションが成立した理由や、地域の文化芸術資源の活用について議論します。]

鼎談「藤田と国吉・その絵画技法からみるふたりの生きた時代」(入場無料)

3月10日(日)13:00~(90分程度)
 会場：熊本県立美術館本館・文化交流室
 定員：先着順
 講師：岩井希久子(絵画保存修復家)、
 岡田真梨子(熊本県立美術館・本展担当学芸員)、
 才士真司
 藤田嗣治と国吉康雄の絵画技法にある共通点を、直島のモネの修復などで知られる、絵画保存修復家の岩井希久子氏を迎えて、読み解きます。

対話・探求型ギャラリーツアー

1月 8日(火) 13:00~
 2月23日(土) 13:00~(各回45分程度)
 会場：2階展示室第3室(観覧料が必要)
 ナビゲーター：岡田真梨子、才士真司

上段左から：国吉康雄《もの思う女》1935年/福武コレクション蔵 ジュール・パスキン《果物籠を持つジュヌヴィエヴ》1929年/熊本県立美術館蔵

文中上：国吉康雄《水難救助員》1924年 文中下：国吉康雄《逆さのテーブルとマスク》1940年/どちらも福武コレクション蔵

2019年はある画家の生誕130年となる年です。画家の名は国吉康雄(1889-1953)。国吉はパリでフランス革命100年を記念する万国博覧会が開催され、わが国では大日本帝国憲法が公布されるという近代を象徴する年に岡山市で誕生しました。日露戦争の翌年、16歳で労働移民として単身、渡米した国吉は、その画才をアメリカの「才能ある若者を支援する文化」によって開花させます。第二次世界大戦を敵国人としてアメリカで過ごしながらも、反ファシズムと芸術家の権利獲得運動に身を投じ、ヴェネチア・ビエンナーレのアメリカ代表となるまでの画家となりました。2015年、アメリカの国立美術館、スミソニアン・アメリカン・アート・ミュージアムでの国吉の大回顧展には44万人が訪れ、アメリカの多様性の象徴として近年、再評価されています。

この国吉と縁ある画家たちの作品が、熊本県立美術館には多数所蔵されています

熊本と国吉に最も縁のある画家が藤田嗣治(1886-1968)です。藤田は軍医であった父の転勤により7歳から11歳までを熊本市で過ごしますが、東京美術学校を卒業後の活躍は誰もが知るところです。国吉は満州事変勃発の1931年に、生涯ただ一度の帰国をしています。このとき、国吉の日本での展覧会開催のために尽力したのが藤田でした。この国吉と藤田の共通の友人が「モンパルナスの王子」と呼ばれたジュール・パスキン(1885-1930)です。ニューヨークに滞在していたパスキンが暮らしたアパートの隣人が国吉で、幻想的であった初期の国吉の作風が、国吉の代名詞ともなる情感豊かな女性像へと変貌するのは彼のアドバイスがあったからでした。そのパスキンの招きで訪ねたパリで、国吉は藤田と出会います。本展では、福武財団が所蔵する国吉康雄作品にあわせ、熊本県立美術館が所蔵する藤田嗣治やエコール・ド・パリの画家たちによる作品を展示します。

特設サイト：国吉康雄プロジェクトHP
<http://www.yasuo-kuniyoshi-pj.com/>



住所：〒860-0008 熊本市中央区二の丸2番
 電話：096-352-2111
 FAX：096-326-1512
 URL：http://www.museum.pref.kumamoto.jp

〈交通案内〉
 ※「熊本地震」の影響により、通行規制が行われています。変動の可能性ありますので、詳しくは当館までご確認ください。
 ○バス/交通センターで下車、城彩苑内を通過し、歩いて15分、または交通センターで乗り換え、熊本城周遊バス[通称：しろめぐりん]で「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分[熊本城周遊バスは、JR 熊本駅前起点、時計回りの運行です]
 ○市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
 ○JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分
 上熊本駅からタクシーで10分
 ○空港/空港バスで交通センターへ、交通センターから歩いて15分、または熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」下車、歩いて3分
 ○駐車場/二の丸駐車場 [有料]、三の丸第2駐車場 [有料]
 ※城彩苑と二の丸駐車場の間を無料シャトルバスが運行しています(15~20分おき)

